

470 class Japan Championships

2017 年 第 46 回 全日本 470 級ヨット選手権大会 兼 第 31 回 全日本女子 470 級ヨット選手権大会

期 間： 2017 年 8 月 17 日（木）～ 8 月 23 日（水）

場 所： 神奈川県藤沢市 江の島ヨットハーバー

共同主催： 日本 470 協会、神奈川県セーリング連盟 [承認番号 17-10]

公 認： （公財）日本セーリング連盟 [申請中]

Organizing Authority (OA): 日本 470 協会、神奈川県セーリング連盟

NOTICE OF RACE

1. 規則

- 1.1. 本レガッタは、2017-2020 セーリング競技規則(以下「規則」という)に定義された規則を適用する。
- 1.2. 規則 42 違反に対し付則 P を適用する。
- 1.3. メダル・レースはアンパイア制を採用する。詳細は帆走指示書付属文書 Q で示す。
- 1.4. 規則 70.5(a)に規定されたとおり、プロテスト委員会の判決を最終とする。
- 1.5. 本大会の全ての規則を決定するのは次の通りとする。
 - 1.5.1. [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。
 - 1.5.2. [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a)を変更している。
- 1.6. 言語間に矛盾がある場合、日本語の NoR が優先される。

2. [DP] [NP] 広告とバウナンバー

- 2.1. 艇は、OA から支給されるイベント・スポンサー広告とバウ番号の表示をしなければならない。
- 2.2. World Sailing 規定 20.4.3 に従い、大会順位の 1 位、2 位、3 位の艇の乗員は、それぞれ黄色、青色、赤色のビブを着用しなければならない。ビブは OA より配付される。

3. 参加及び資格

- 3.1. 参加選手は各国連盟（MNA）会員登録済みの者。
- 3.2. 参加選手は各国 470 クラス協会会員登録済みの者。その国に 470 クラス協会が無い場合は、各国連盟（MNA）の許可を得ていること。
- 3.3. 日本人選手は下記のいずれかを満たしていること。
 - a) 日本 470 協会会長又は各水域 470 協会理事の推薦を受けている者

b) 全日本 470・全日本女子 470 歴代優勝者（スキッパー・クルーそれぞれに権利有）

c) 歴代 470 クラスナショナルチームの者（スキッパー・クルーそれぞれに権利有）

3.4. 参加資格のある艇は、大会 web サイト <http://www.alljpn470.org/> の『オンラインエントリーフォーム』に入力し、必要な手数料を支払うことにより、参加申込みする事ができる。

3.5. 2017 年 7 月 15 日(2400 Japan Time, GMT+9)までにエントリーを完了した艇は、Early Entry Fee（早期参加費）とする（NoR4.1 を参照）。

3.6. エントリーは上記の期限を過ぎても大会の 14 日前まで受付可能で、その後のエントリーは大会実行委員会の裁量で受付される。

3.7. 18 歳未満の参加者は、オンラインエントリー時に入力した親（または保護者）の同意と申告書を提出するものとする。同意書および申告書は受付登録時に提出するものとする。

3.8. コーチ、チームリーダーおよび参加国の代表者は、大会の 14 日前までに <https://www.alljpn470.org/> の『オンラインエントリーフォーム』に入力すること。コーチエントリー費は、受付登録時に現金にて支払うこと。（NoR4.1 を参照）

4. 参加料

4.1. 必要な参加料は次の通りとする。

参加料は日本円で表示され、消費税を含む。

Class	Entry Fee	Early Entry Fee
470	35,000 円	30,000 円
Coach or Support Boats (including one person)	3,000 円	

4.2. 参加料の返金を行わない。

4.3. ウェルカムパーティー料は参加料に含まれる。

4.4. 参加料の支払いは銀行振込と PayPal で受け付ける。

4.5. 銀行振込の支払いは下記口座に行うこととする。

【参加料振込先】

三菱東京 UFJ 銀行 店番 5 3 7 五反田支店

普通預金 口座番号 0 5 3 6 5 5 0 エノシマセーリング カトウマサコ

※ 前年度優勝チームが同一メンバーでエントリーする場合は、参加料のみ免除する。

振込名の注意点

※ 1 艇分振込 Sail No.と振込者名を記入すること。例：4700 ヨナナカワ

※ 複数艇分一括振込 艇数と団体名を記入すること。例：3000 ダイガク（3 艇参加の場合）

また、エントリーフォーム備考欄にも艇数と団体名を記入すること。

5. レガッタフォーマット

5.1. 全日本 470 級ヨット選手権大会は男女の区別をしない大会である。全日本女子 470 級ヨット選手権大会の成績は、全日本 470 級ヨット選手権大会の成績を流用し、女子選手の中で総合得点の少ない順位で大会の順位付けを行う。

5.2. 本レガッタはオープニングシリーズとメダル・レースで構成される。オープニングシリーズは最低 6 レースが行われ、予選シリーズと決勝シリーズに分けられる。オープニングシリーズの成績上位 10 艇はメダル・レースに参加できる。

5.3. 本レガッタは、10レース+メダル・レース/ラストレースが予定される。

5.4. オープニングシリーズ

5.4.1. 予選シリーズ

5レースが予定され、フリートを分けて行われる。

5.4.2. 参加艇数に応じて下記の様にフリート分けを行う。

- 40 艇以下 1 フリート
- 41 艇～80 艇 2 フリート
- 81 艇以上 3 フリート

上記のフリート分けはエントリー開始後 OA の裁量で変更する可能性がある。

5.4.3. 決勝シリーズ

最大 6 レース+メダル・レース/ラストレースが予定され、予選シリーズの最終成績順にフリートを分けて行う。決勝シリーズのフリート分けは出来る限り同数とし、シルバー・フリートはゴールド・フリートより多くなることはない。オープニングシリーズの順位はゴールド・フリート、シルバー・フリート順とする。

5.5. メダル・レース

メダル・レース（1 レース）は、NoR5.2 に従って行われる。

5.6. ラストレース

メダル・レースに出場しない選手でおこなわれる。

5.7. 470 級のレースフォーマットは、Tokyo 2020 に準じて変更することがある。

6. 日 程

6.1. レース日程

日付		時刻
Day0 8月17日（木）	計測	1030 -1830
Day1 8月18日（金）	受付登録、計測	0830 -1830
	開会式	1900
Day2 8月19日（土）	予選シリーズ	最初の予告信号予定時刻
Day3 8月20日（日）	予選シリーズ	TBA
Day4 8月21日（月）	予選シリーズ/決勝シリーズ	TBA
Day5 8月22日（火）	予選シリーズ/決勝シリーズ	TBA
Day6 8月23日（水）	メダル・レース/決勝シリーズ/ラストレース	TBA
	表彰式・閉会式	1530

6.2. 最初の艇長会議は8月18日の開会式で行われる。

6.3. 1日3レースまでは行われる。

6.4. 最終日の予告信号は下記の時刻より後には発しない。

レース	時刻
メダル・レースの場合	1400
フリート・レース（メダル・レースが無い）の場合	1300

7. [NP] [DP]装備検査

- 7.1. 各艇は、計測時に有効な MC/MF (Measurement Certificate including Measurement Form) を提示するものとする。MF が写真などであれば、発行者に有効かどうか証明してもらわなければならない。艇が規則 78.2 に従い MC を作成する場合、2017 年 8 月 18 日 18:00 までに行うこと。
- 7.2. 大会計測は次の通りである。
- 7.2.1. World Sailing 男子ランキングのトップ 30 以内、または World Sailing 女子ランキングのトップ 20 以内の乗員が使用している艇はフル計測を行う。
- 7.2.2. 大会チーフメジャーがランダムに選んだ、大会ごとに 10 艇以上の艇はフル計測を行う。
- 7.2.3. その他の艇については、少なくとも次の計測を行う。艇の重量 (クラスルール C.6.1)、艇体とセイルの MC との適合、クラス規則 B.3.1, C.10.3, C.10.4, D.1.4, G.2.2 G.3.1, F.3.5(a)(11)と(12), F.4.3 (a) (5) と (6) [ストッパーとブラックバンド位置]、艇に取り付け可能な艀装、及び各艇のオリジナル艀装の確認。
- 7.2.4. 大会計測の指針は、これらの計測の初日の前日には公式掲示板に掲示され、選手、チームリーダー、コーチに提供される。
- 7.3. 艇または装備は、規則 78 に準じ、規則に従っていることを確認するために、いつでも検査されることがある。
- 7.4. テクニカル委員会は規則 92 に従い、任命されるものとする。

8. 帆走指示書

帆走指示書は、レース・オフィスと大会 web サイトにて登録受付までに入手できる。大会のその他の公式文章も帆走指示書と一緒に公開される。

9. 開催地

- 9.1. NoR Appendix 1 は、レガッタ・ハーバーの場所を示す。
江の島ヨットハーバー
〒251-0036 神奈川県藤沢市江の島 1 丁目 1 2-2
- 9.2. NoR Appendix 2 は、レース・エリアの場所を示す。

10. コース

帆走するコースはトラペゾイド・コース、ウィンドワード/リーワード・コースとする。

11. 得点

- 11.1. 付則 A の低得点方式を適用する。
- 11.2. 予選シリーズでは
- 11.2.1. 予選レースは 5 レースが予定される。
- 11.2.2. 予選シリーズの成立には 4 レースを完了する事が必要である。
- 11.2.3. 予選シリーズの得点は繰り越しされる。
- 11.3. 決勝シリーズでは
決勝シリーズは最大 6 レースを予定する。
- 11.4. カットレース
- 11.4.1. 3 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- 11.4.2. 3 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

11.5. メダル・レースでは

- 11.5.1. メダル・レースの得点は 2 倍とする。これは付則 A4.1 を変更している。
- 11.5.2. メダル・レース参加艇のシリーズの得点は、オープニングシリーズレースの得点を繰り越し、メダル・レースでの得点を追加する。
- 11.5.3. メダル・レースの得点は除外出来ない。
- 11.5.4. 参加を認められた艇数をメダル・レース参加艇数とする。
- 11.5.5. メダル・レースに参加を認められた艇の得点のタイは、付則 A8 を変更し、メダル・レースの得点で解く。それでもタイが残っている場合には、決勝レースの得点を含め、付則 A8 に従ってタイを解く。
- 11.5.6. メダル・レース参加艇は、本レガッタの成績上位とする。ただし、規則 5 または規則 69 に基づき失格とされた艇は、適用されないことがある。

12. [NP] [DP] 支援艇

- 12.1. 支援艇は、OA に登録され（NoR3.8 参照）、法律及び、大会支援艇規則を遵守する必要がある。OA の裁量で登録を拒否出来、任意に登録を受け入れることができる。
- 12.2. 登録された支援艇は、必要に応じて救助艇として行動し、レース委員会または OA の指示に従わなければならない。
- 12.3. 支援艇は、ヨットモーターボート保険（対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険）に加入していること。
- 12.4. 支援艇のすべてのドライバーは日本国内の海技免状を持っていなければならない。海外支援者のための制限つき海技免状については、[Guide for Operator Card and Boat Inspection](#) を参照のこと。

13. [NP] [DP] 停泊

艇は、ハーバーの指定された場所に保管しなければならない。

14. [DP] 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は携帯電話にも適用される。

15. 賞

- 15.1. 全日本 470 級ヨット選手権大会の賞は次のように与える。
 - 全日本 470 級ヨット選手権大会
 - 優勝：優勝カップ
 - 2 位：準優勝カップ
 - 全日本女子 470 級ヨット選手権大会
 - 優勝：優勝カップ
- 15.2. メダルは日本 470 協会により、各選手権の 1～3 位のチームに与える。
- 15.3. トロフィーは OA によって各選手権の 1～3 位のチームに与える。
- 15.4. 海外の選手が参加する場合はオープン参加とし、順位は通常通りにつけるが、NoR15.1 の賞は授与しない。

16. [DP] [NP] 肖像権、カメラ及び電子機器

- 16.1. 選手は、本大会に参加することにより、大会期間中の選手または装備に関する動画、スチール写真および撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく、主催団体に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

- 16.2. 艇は、OA により指定されたカメラ、音響機器および測位機器を、クラス規則 C.5.1 (a) (3) に従って搭載するよう要求されることがある。
- 16.3. 上位 3 チームの選手、および各レースの上位選手は、毎日メディアにインタビューされることがある。
- 16.4. 選手は、レガッタについてメディアにインタビューされることがある。

17. 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則 4[レースすることの決定]参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

18. ドーピングコントロール

ドーピングコントロールは、世界アンチ・ドーピング規程に従って行われる。またドーピング検査は、大会会場で行うことがある。20 歳未満の日本人参加選手はドーピング検査に対する親権者の同意書を日本セーリング連盟への提出していること。（定型の書式は日本アンチドーピング機構の web サイト取得可能）

General Information (Not part of the Notice of Race)

➤ The sailing conditions

2017 年全日本 470 選手権が予定されている時期には、平均風速は 14kt です。南西のシーブリーズが吹き、安定しています。

天気予報 http://www.windguru.cz/int/index.php?sc=208567&sty=m_menu

天気図 <http://www.jma.go.jp/en/g3/>

潮見表 <http://wisuki.com/tide/383/enoshima>

➤ Boat Park Storage

江の島ヨットハーバー

湘南なぎさパーク

Phone: 0466-25-2211

Email Address: info@enoshima-yacht-harbor.jp

<http://enoshima-yacht-harbor.jp/index4.htm>

➤ Accommodation & Travel

JTB Travel <http://www.jtbcorp.jp/en/index.asp>

HIS Travel <http://www.no1-travel.com/>

Rakuten Travel <http://travel.rakuten.com/>

Kanagawa Pre-Games Training Camps Invitation Committee

<http://www.kanagawa2020.jp/accommodation/>

Airbnb <https://www.airbnb.com/?locale=en>

➤ DOPING CONTROL

平成 27 年 1 月より世界アンチ・ドーピング機構（WADA）の規程変更に伴い、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の規程で、未成年競技者（20 歳未満）の親権者から、ドーピング検査実施に関する同意書の提出が義務付けられました。JADA web サイトを熟読の上、「[アンチ・ドーピング未成年競技者親権者承諾書](#)」をダウンロードし、内容を記載し JSAF 事務局アンチドーピング係まで郵送にて提出してください。なお、コピーは控えとして保管してください。

日本アンチ・ドーピング機構 <http://www.playtruejapan.org/>

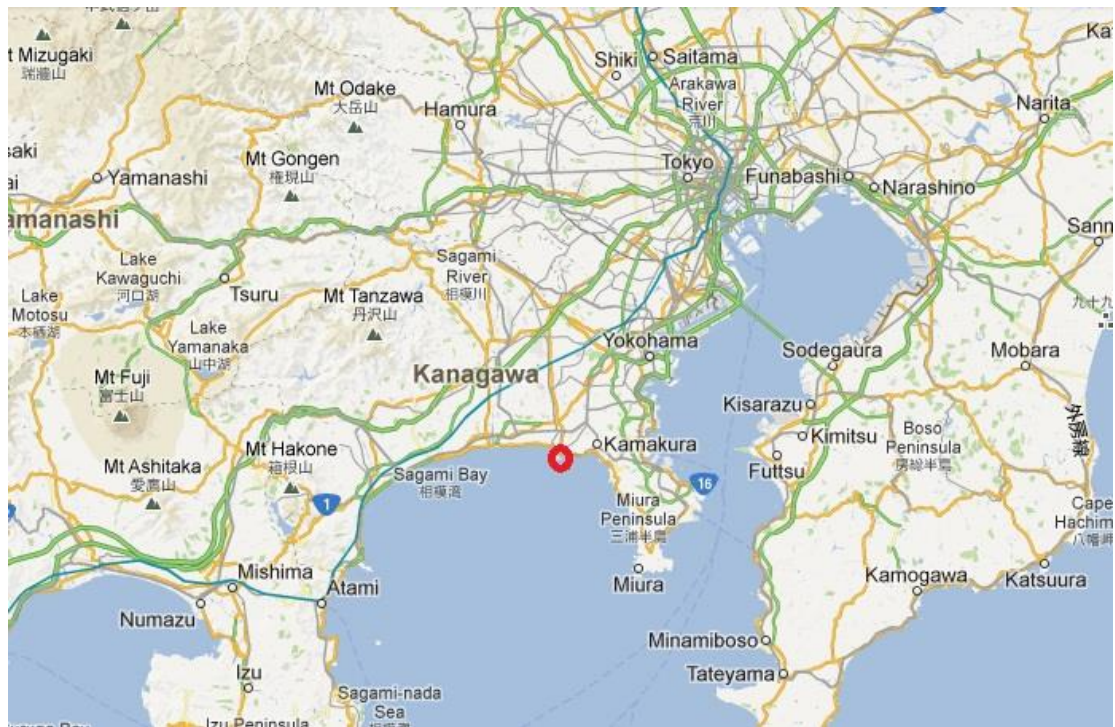
U-20 必読 <http://www.playtruejapan.org/disclosure/u20-agreement/>

➤ FURTHER INFORMATION

大会 web サイトお問い合わせフォームからご連絡下さい。

大会 web サイト URL: <https://www.alljpn470.org/>

NoR Appendix 1



NoR Appendix 2

